翼をありがとう
福島県骨髄バンク推進連絡協議会・会報
骨髄移植推進財団発表
平成9年8月20日(水)発行
No.17

骨髄バンクを応援しよう!

このマスコットで「ヒュウノウ」くんは骨髄移植を受けた高校生が描いたものです。

使用済みテレフォンカード
・
使わない切手、ハガキ
・
書き損じたハガキを骨髄バンク運動に有効利用します。

下記事務局
または最寄りの支部へお送りください。
▼

福島県骨髄バンク推進連絡協議会事務局
〒970-11
いわき市好間町神谷字小盤113-3
TEL0246-36-8343
FAX0246-36-3538

県北支部
〒960
福島市北沢芝城越6-11(赤間方)
TEL&FAX 0245-98-4040

会津支部
〒965
会津若松市門田町大字徳山字村中134-1(東大方)
TEL&FAX 0242-27-7028

郡山支部
〒963-01
郡山市田村町金屋字上川原126-1(阪本方)
TEL&FAX 0249-44-5762

太郎浦地区
〒979-03
いわき市内郷御厩町久世原16
いわき市立病院整形外科部長(小島方)
TEL 0246-26-3151(内2284)

県南支部
〒963-01
石川郡浅川町大字大柿字5-1(花井組事内)
TEL 0247-36-4646
FAX 0247-36-4649

第5回 定時総会より

ご挨拶

会長 太田 緑子

本城会を設立五周年を迎えることができました。これもひとえに会員の皆様の献身的な活動が多くの県民の方々の共感を呼び、予想を超えるご支援をいただけたからこそと考えております。本日第五回定時総会にあたり心より感謝申し上げます。

思います。

主なものを紹介しますと、十月に四日間にわたって開催しました県内PRキャンペーンの皆さんの「ご協力」では大成功を納めることができました。

十一月に石川町、福島市で開催しました「骨髄バンクを楽しく知る集い」は延べ三〇〇人以上の方々に参加をいただき、県内キャンペーンと共に福島県よりご委託されました骨髄バンク普及拡大事業を成功裡のうちに終了することができました。

八月に矢祭町で開催しました「矢祭ひろば」は、会場を埋め尽くす多くの方々に大きな関心と共に骨髄バンクについての理解をいただけたのではないかと思っております。

また、十一月の会津で「きせひろゆき君の絵画展」というサンダントフローリアン・ピアノ三重奏のコンサートという、さらなるチャレンジ、大人から子供迄を幅広く巻き込んだものではなかったでしょうか。

さらに、今年三月の骨髄移植ドナー延べ第100例達成二周年キャンペーンにおきましては、県内十カ所、延べ参加ボランティア数三四人と大変大きな規模で展開することができました。

こうした私達の活動が継続できますのも、一般県民の方々や企業、各種団体のご支援・ご協力があって実現しているものです。心より感謝申し上げますと共に、今も提供者をまめならぬ必死で病気と闘っている若者さんを思い、会員一同、こころを新たに更なる活動の推進をお誓い申し上げたいと思います。

骨髄バンクを応援してくださいます。十分意を尽くせませんが、すべての皆様により感謝を込めて私の挨拶とさせていただきます。

平成九年五月二十四日

(総会の講演内容は二二面に掲載)

移植体験者対談

(県南支部)

設立三周年記念講演会

「患者家族にとってどんなものがあったことか」

これは講演会を終え、後に郡山の坂本さん(報告)の耳に入った言葉です。思わず胸が熱くなりました。

「そうか、これだったんだ。もっ今日のテーマ!」

去る六月一〇日(金)に県南支部設立三周年記念講演会が表題通りで開催されました。

"献血推進運動宣言の村"

営委員ではこれまで、常時ボランティアとして参加されていました、大人の方々に、「チアガールズ」を常時募集する事業等で参加されました。

という、とても嬉しい話しから始まる。

さて今日はんしょうかの方々に感謝しましたかとの質問から始まる。

「初めて聞いたけどとても感動しました」

「勇気が入ります」

「骨を奏でることが大切思ってました」

「すばらしい人達です」

講演終了後にたくさんの素敵なお声かけを頂きました。

そして第二部では、「孟かなる心の旅」と題して大石邦子さんの講演です。

当地には三度目ということで、事業の約半数近くが以前に大石さんのお話を聞いていました。それでもまた聞いていると人を引きつけるその石さ強い力があるとは、とても人の魅力には只々驚かされます。

「初めて聞いたときは、ただ感動しました。」

「勇気が入ります、、、考えました。」

「骨を奏でることが大切思ってました。」

「すばらしい人達です。」

講演終了後にたくさんの素敵なお声かけを頂きました。

そして第二部では、「孟かなる心の旅」と題して大石邦子さんの講演です。

当地には三度目ということで、事業の約半数近くが以前に大石さんのお話を聞いていました。それでもまた聞いていると人を引きつけるその石さ強い力があるとは、とても人の魅力には只々驚かされます。

時折笑いがおこる和やかな雰囲気で話は進みます。

「お前の子は、いつの間かお大さんの世界に、とまるっていう、気が付くと、命の輝きに一人のやさしさ」を心のお土産としてしまいました。

閉会となっておりました。

その後大石さんは握手を求める人に囲まれておりました。

その様子を見ていた人達は、「ご苦労様、ありがとう」と、とびっきりの笑顔で応えておられました。

いを感じさせられました。

打ち上げはスタッフ以外に西工会婦人部、社会福祉協議会、PTAの皆様と高校生に主役席を頂き、様々な貴重な意見を伺はました事、今後の活動に生かしてゆきたいと思います。

はじめにおきまして、この様な素晴らしい講演会が実現できました事、皆様のご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。

特に会場設営にご尽力下さいました社会福祉協議会の方々に

は厚く御礼申し上げます。

しかし冒頭にも述べたように、会員一同、こころを新たに更なる活動の推進をお誓い申し上げたいと思います。

骨髄バンクを応援してくださいます。十分意を尽くせませんが、すべての皆様により感謝を込めて私の挨拶とさせていただきます。

平成九年五月二十四日

(総会の講演内容は二二面に掲載)

大石さんへ子供たちから花束贈呈

∞∞ 親愛なるドナーの方へ ∞∞

6月10日の中日新聞に、吉田麻里さんの書いた手紙が掲載されました。

骨髄移植から2年半が経過した今、ドナーへの感謝のメッセージを綴ったものです。その全文をご紹介します。

お元気にお過ごしでしょうか。

あの日から2年半が過ぎました。あの時あなたの勇気とやさしさがなかったら、今の私はいませんでした。あなたからいただいた命の種、元気の源は私の中で着実に育ってきています。

あなたと私の相性はよほど良かったのかＧＶＨＤもほとんどなく、感染症も起こさず日々でも驚くくらい順調に今まで来ました。

また体力に自信がついて行くにしたがって行動範囲も広がり、大好きな旅行にも以前のように出かけられるようになりました。今年は金額の海外へ初めて行くことができました。旅行で見る雄大な景色に感動するたびに生きている実感とあなたに対する感謝の気持ちでいっぱいになります。仕事のほうも新しい会社に再就職もでき、最近はたいぶ慣れ自分なりに仕事ができるようになりました。

好きな物を好きなだけ食べる、どこへでも自由に出かけられる、友人達とのおしゃべり、仕事に就ける、そんな当たり前のことが今はとても幸せに感じられます。

ドナーの方とは直接お会いすることはできませんが、これからも元気で充実した日々を送ることが、あなたに対しての私ができる最大のお礼だと信じて、毎日を過ごしていきます。そして今、私にとって最高の「ありがとう」をあなたに贈ります。

心からのご寄付をありがとうございました

平成9年4月～平成9年6月受付分 (敬称 略)

《本部受付分》
太田緑子 …… 50,000円
(財)太田総合病院 …… 50,000円
福島県財団法人病院協会 …… 50,000円
国際ソロプチミスト須賀川 …… 切手
ポースピグ募金
(旭町商店街振興組合・東北電力原町営業所) …… 35,005円
(社)原町青年会議所 …… 17,507円
太田緑子 …… 50,000円

《郡山支部受付分》
青木はつ子 …… 10,000円
鈴木敏安 …… 10,000円
太田熱海病院看護部コスモス会 …… 70,000円
斎藤ふま …… 10,000円
大槻弘 …… 24,402円
吉野四郎 …… 12,709円
太田記念病院募金箱 …… 1,951円
太田西ノ内病院募金箱 …… 6,817円
太田熱海病院募金箱 …… 5,739円
カトリック教会バザー募金箱 …… 4,411円
小泉清 …… 使用済みテレカ 57枚
佐々木伸一 …… 使用済みテレカ 3枚
吉野四郎 …… ハガキ 34枚　書き損じハガキ 6枚

《県北支部受付分》
福島医大赤十字奉仕団 …… 10,000円
菅野美香 …… 使用済みテレカ 88枚

《県南支部受付分》
表郷村講演会募金箱 …… 28,855円
石川ロータリークラブ …… 200,000円
表郷村 …… 30,000円

《会津支部受付分》
(社)会津坂下青年会議所 …… 図書券2,500円

《いわき支部受付分》
やさしい会 代表 後藤千代 …… 190,472円
ONE. BOX …… 56,666円
陽田秀夫 …… 10,000円
匿名 …… 10,000円
(株)ヨウタ …… ハガキ20枚　書き損じハガキ 23枚
国際ソロプチミストいわき …… 100,000円
山内クリニック …… 70,000円
瓜田鉄也 …… ハガキ8枚
北好間郵便局 …… ハガキ45枚
神谷鮎美 …… 400円
陽田秀夫 …… 10,000円
いわき平ローターリークラブ …… 100,000円
〃 …… 使用済みテレカ 4枚
陽田卓子 …… 10,000円
城所香織 …… 400円
いわき医師会市民公開講座(募金箱) …… 622円

講演後、大竹さんが自分で書き上げた、五日のスケッチを贈呈。(祝福絵画)

大竹 文さん磐城女子高校で講演

五月二十日、磐城女子高校の二年生を対象に講演会が開催されました。

講師は公的骨髄バンクを支援する全原の会の大竹文さん。

「骨髄バンクで救済を受けた元気になった元患者さん」

発病の時のお話しから骨髄提供者が見つかるまでの一年半の間が病棟の一番つらい時だったこと、骨髄移植の体験者ならではのお話し四〇〇名の生徒さんと約五十名の教師、父兄が聞き入った。

また、生徒さん達にも「単なるあこがれではなく自分の夢を実現しようとする強い気持ちでしっかり自分の進路を決めてほしいとアピールされ、入院中、ビデオでみた骨髄移植番組を続けてテレビ番組を制作した事等、進路の中でもっと男女で考える大竹さんの問題点を表わすエピソードも披露されました。

○人が集まり、画面会長、本賓の方達に続き、全国骨髄移植会の活動を大々的に紹介した方五名が会長らの感謝状、贈呈品が贈られました。

引き続きエッセイスト大石邦子さんの記念講演「生きる力」がありました。

懇談会では、遠藤丸子さん海外骨髄バンク視察報告から、それぞれ骨髄バンクの現状と分かれて骨髄バンクの現状と課題について熱っぽく語り、場入りとなりました。

十七日は日本ホーム(約四〇人)の集い(in新潟)が新潟ユニゾンプラザにて開催されました。

福島からも数名参加、十七日早朝のきからマイクロバスを走らせ、途中郡山、会津宮城から参加者と加わり、総勢十五名が磐梯道路断の会

骨髄バンクチャリティ 親子フェスティバルin船引

～～～設立五周年記念事業～～～

五月二十四日（土）県内各JC、ハーレー会、福島大、福島医大の学生はじめ多くのボランティアの方々のご協力のもと、県の中心部である船引町にてチャリティ親子フェスティバルを開催した。

開催までには運営委員会において何度も協議を重ねてきたが、特に模擬店の内容・プログラムフルト、焼き鳥、焼きそば、ジュース）や仕入れ、売値については「LCメンバーの『まかせていて！』の一言に安心感と頼もしさを覚えました。しかしいくら協議しても出てこなかったのが『雨の日のレジャー』。誰も触れようとはしなかった苦肉の策である。

当日は、快晴ならぬ、お日事なる雨。

「一人、集まるかな？」「雨のお日様恨めしい」「危惧しようとも」「雨の日のジョーク」。誰も触れようとはしなかった苦肉の策である。

当日は、快晴ならぬ、お日事なる雨。

「一人、集まるかな？」「雨のお日様恨めしい」「危惧しようとも」「雨の日のジョーク」。誰も触れようとはしなかった苦肉の策である。

映画「金色のクジラ」に大盛況

雨に濡れながらのビンゴ大会

骨髄バンクPRコーナー

好評だった各コーナー

骨髄バンク活動に参加して

今回初めて骨髄バンクの活動に参加させていただきました。各支部が協力し合ってのイベントであり、とても楽しく、自分たちにとっては知知のことばかりでありました。

「即、登録をしたがけはあってもあなたに無理なことを骨髄バンクを正しく理解していただけたら、まこかの先に つながるOD家族が誕生してくれていけたらと、設立五周年にあたるかと思う。

雨の降る前果来い一日でしたが、骨髄バンクに関わることができ、大変勉強になりました。

（福島医大　根本都）

赤十字事化団の献血グループに所属し、今回初めて骨髄バンクのPRに参加しました。以前は、骨髄バンクがあっても骨髄の提供者が少ないと、骨髄移植の際の全身麻酔の事故があったりとうことなど、おぼろげしか知りませんでした。このような地道な活動のことに成り立っていること

ぬいぐるみも活躍

原町市ホースピアで骨髄バンクPRと募金活動

金子運営委員と町JCの計らいで四月二十七日原町市で開催されたホースピアに参加、PRコーナーでパネル展示や書籍販売を行った。また、旭町商店街振興組合

岸川悦子さん講演 ―原町JC五月例会―

骨髄バンクってなあに？と題して原町青年会議所の五月例会が五月十九日開催されました。

市民公開で行われたこの例会は、「命の重さを考え続けて」のテーマで講演した岸川悦子さんがメインゲスト。

昨年の二月、郡山で開催されたJCの福島ブロック協議会の新春講演会で岸川さんの お話を聞いた関東理事長が原町市民や原町JCのメンバーにもぜひ聞いてもらいたいとの思いで実現したものである。JCメンバーの他、一般市民の方々も数多く参加され、百名以上の方が岸川さんの感動的なお話に真剣に耳を傾けた。

隣田運営委員長も参加し、骨髄バンクの説明をされていた。

その後、原町JCメンバーの水口君が骨髄バンク登録に体験談をお話し、「もしも自分のかいぃんわいい子供が万一病気になったらと考えた登録する動機を語り、参加者の共感を呼んだ。

会議例会の席上、旭町商店街の代表の方から募金の贈呈を受けた。ホースピアで骨髄バンクのPRに協力いただいた組織の皆さんに感謝、ありがとうございました。

平成9年度役員・運営委員

会長　太田緑子（再）

副会長　田中長英　蔵一（再）　小野利江（新）
副会長　渡部英一（再）　小岩城広子（新）

監事　菅家　悠右衛門（再）　宗像住孝（新）

県北支部所属10名
赤坂　八郎（再）
間斉　のぶ子（再）
津津　美紀子（再）
梅梅　聖豊（再）
太太　壮一（再）
下島　健江（再）
藤本　調喜子（再）
斎藤　美子（再）
羽羽　啓子（再）
羽羽　文子（再）

いわき支部所属9名
田田　秀夫（再）
木木　博有広（再）
木木　美智恵（再）
田田　麻幸子（再）
辺辺　万里子（再）
賀賀　久美子（再）

会津支部所属6名
木木　英子（再）
藤藤　三可（再）
田田　静浩（再）
澤澤　政子（新）
須須　エイ子（新）

県南支部所属13名
根根　雄一（再）
藤井　浩一（再）
木木　喜次之（再）
藤藤　正清博（再）
田田　秀賢也（再）
辺辺　政夫（再）
根根　正康晃（再）
井井　正直（再）
木木　正直（再）
田田　辺正（再）
辺辺　根正（再）
宮宮　吉渡（再）
橋橋　緑増（再）
酒酒　鈴（再）
鈴鈴　橋（再）
藤藤　木（再）
木木　藤（再）
斎斎　倉（再）
高高　斎（再）
佐佐　木（再）
白白　鈴（再）
市市　辺（再）
永永　井（再）
井井　上（再）
清清　藤（再）
藤藤　渡（再）

郡山支部所属14名
豊豊　和（再）
ああ　ゆ（再）
高高　吉（再）
秀秀　恵（再）
高高　司（再）
善善　雄（再）
春春　美（再）
秀秀　紀（再）
賢賢　純（再）
政政　弘（再）
正正　雄（再）
正正　照（再）
康康　春（再）
博博　秀（再）
秀秀　英（新）
賢賢　良（新）
政政　勝（新）
夫夫　生（新）
康康　修（新）
晃晃　修（新）
勝勝　修（新）
生生　修（新）

相双地区1名
金子　洋一（再）

第5回定時総会報告

日時：平成9年5月24日　午前9時半より　場所：船引町文化センター

平成八年度活動報告

平成8年

4月6日　大谷貴子氏講演（大田病総合病院）
4月20日　県立磐城女子高校にて骨髄バンク講演（隠田）
5月26日　県協　第四回定時総会
6月1～2日　全国骨髄バンクボランティア大会
6月21日　いわき医師会市民公開講座にてPR
6月29日　相馬JCと催し・ボランティア推進シンポジウム
6月30日　民謡華炎公発表会にてPR（いわき）
7月20日　飯舘村福祉まつりに参加
7月27日　バングハウス主催ウィークラリーに参加（福島）
8月4日　鮫ヶ城まつりに参加（会津）
8月5日　東京国際フォーラム（全協）
8月18日　福島市ビオーネ
8月25日　郡山法人会青年部会にてPR（坂本）
8月25日　福島市ビオーネ
9月5日　105ハーフルサタデー献血推進に参加（郡山）
9月10日　大町通り歩き者天国にてPR（会津）
9月10日　会津坂下町産業まつりに参加（会津）
9月10日　会津若松市産業祭に参加（会津）
9月20日　喜多方市鯉まつりに参加（会津）
9月21～27日　県内キャンペーン実施
10月25～27日　あやちゃんの明り物展（郡山パレードカー）
10月25日　いわき市福祉まつりに参加
10月27日　保健・福祉フェスティバル郡山96（郡山）
11月2～3日　福島県医大大学祭にて赤十字事化団がPR
11月3～4日　福島大学大学祭にて福島ボランティアがPR
11月14～17日　きせひろゆきさんの絵画展（会津）
11月15日　サンダル・フローリブン（会津）
11月16日　ピアノ三重奏コンサート（会津）
11月16日　骨髄バンクを知る集い開催（石川町）

平成9年

11月17日　骨髄バンクを知る集い開催（福島市）
11月22日　いわき市医師会准看護学校にて講話（隠田）
12月31日　首都圏移植ボランティア花火大会に参加（船引町）
1月15日　はたちの献血キャンペーンに協力（いわき）
1月22日　GLAYコンサート（郡山）
2月9日　骨髄移植一〇〇〇例達成全国一斉街頭キャンペーン実施

私たちは、福島県骨髄バンク推進連絡協議会の平成８年度に於ける会計決算報告書を関係書類と共に監査しました。
総て、妥当かつ正確であることを認めたので報告します。

平成９年５月24日

福島県骨髄バンク推進連絡協議会
監事　岩城汀子
監事　菅家　悠右衛門

平成九年度事業計画（案）

1　公的骨髄バンクへの事業協力
①財団骨髄移植推進財団主催の各種事業への参加
②骨髄移植推進月間における各種事業の推進
③自治体が主催する各種のパンフレット・ポスター等企画面での協力
・各市町村骨髄献血まつり等への協力
④骨髄受付場所（データセンター）保健所、のPR活動
⑤ドナー登録時の一次・二次検査同時実施のPR
2　骨髄移植医療施設充実のための各種活動
①行政・医療機関等への請願活動
②全国骨髄バンク推進連絡協議会が行う医療施設充実のための運動への参加
③各市町村及び県関係企業へ骨髄移植月間企業へのセミナー休暇制度の要請
4　関連団体との意見交換、交流及び情報交換協力
①福島県内骨髄バンク関係者会議・ボランティア・コーディネーター・ボランティア・骨髄移植推進財団他）
②全国骨髄バンク推進連絡協議会、東北骨髄バンクボランティア連絡協議会等の事業への参加協力
③RC、LC、JC、ソロプチミスト、ゾンタクラブ、ユネスコ協会、学校等他団体が行う骨髄バンク関連事業への協力
5　県内未組織地域での組織作（相双支部設立を含む）
6　県民に対する正しい知識の普及啓発のための事業
①シンポジウム・講演会・勉強会などの開催による普及啓発
②絵画展、写真展、パネル展等の開催による普及啓発
③映画上映、フェスティバル等による普及啓発
④会報の発行・ポスター類の掲示・看板設置等による普及啓発
⑤パンフレット立ての設置及啓発
⑥関係図書の販売等附・テレホンカードや絵はがき等の販売を通しての PR
⑦県・市町村の広報紙を通じによる普及啓発
7　献血事業等への協力
8　内部学習会の開催
①各支部定例会等での学習会
②合同学習会の開催
9　募金活動
①テレホンカード・絵葉書等の販売
②全国協議会セミナー等への参加
①チャリティバザー・チャリティコンサート等の開催

平成９年度予算（案）

平成９年４月１日～平成10年３月31日

収入内訳（単位：円）

項目	金額	備考
1 募金　寄附	5,200,000	
2 事業収入	1,600,000	チャリティ等
3 販売品収入	1,400,000	テレカ・絵葉書・書籍等売上
4 会費	30,000	会津支部賛助会費
5 補助金・助成金	800,000	健康まつり等の自治体からの補助金等
6 共同募金配分金	300,000	
7 雑収入	36,683	利息等
8 前年度繰越金	3,933,317	
合計	13,300,000	

支出内訳（単位：円）

項目	金額	備考
1 通信費	1,600,000	
2 旅費・交通費	500,000	
3 印刷費	1,500,000	全国協議会の会報他
4 事業費	4,500,000	
5 販売品購入費	1,100,000	書籍等購入費
6 事務費	200,000	
7 会議費	250,000	定例会・運営委員会等
8 負担金	350,000	全国協議会の会費他
9 雑費	900,000	印刷機　含
10 イベント開催準備金	2,100,000	シンポジウム等
11 予備費	300,000	
合計	13,300,000	

平成８年度決算報告

平成８年４月１日～平成９年３月31日

項目	平成8年度決算額	項目	平成8年度決算額
[収入の部]		[支出の部]	
1 募金・寄附	6,694,650	1 通信費	1,476,429
2 事業収入	1,678,288	2 旅費・交通費	525,600
3 販売品収入	1,404,800	3 印刷費	1,759,176
4 会費（賛助会費）	6,000	4 事業費	4,383,490
5 補助金・助成金	1,590,000	5 販売品購入費	1,082,263
6 共同募金配分金	300,000	6 事務費	205,070
7 雑収入	131,772	7 会議費	281,531
8 前期繰越金	2,453,626	8 負担金	388,016
		9 雑費	224,184
		10 次期繰越金	3,933,377
合計	14,259,136	合計	14,259,136